

You Tube
録画中継は
こちらから

氣田量子
（自民公明クラブ）

セーフコミュニティ国際認証更新に向けたロードマップは

令和９年度中に方向性を示す

問　セーフコミュニティに係る新たな条例制定または現行の条例改正の必要性の検討状況は。

答　現行条例は理念と矛盾するものではなく、条例の改正・制定の検討よりも実効性のある推進体制の整備が重要と考えています。

問　国際認証更新に向けたロードマップは。

答　前回の認証取得時を参考に令和９年度中に具体的な手順や時期等の方向性を示す予定です。

問　東地区コミュニティ推進協議会で実施している「防災親子キャンプ」のような避難生活の疑似体験を行う体験型防災教育を市主催で市全域に展開しては。

答　自主防災組織などの研修において事例紹介し、実施する団体や地域に講師派遣や市の備蓄物資の提供等を行うことで支援します。

問　避難所等の広域避難体制を確立する考えは。

答　県主体で県内全市町村間での相互応援に関する協定を締結するなど、広域的な支援・避難体制が確立されています。

問　十和田東病院閉院後の病児・病後児保育事業の継続に向けた取組は。

答　中央病院内での一日でも早い開設に向けて、鋭意協議を進めています。

問　電話不要で時間を問わず予約ができるなど、利用しやすいシステムを導入する考えは。

答　国、県の補助金の活用も含め検討します。

問　文字の読み書きや算数に不安がある児童生徒が誰一人取り残されないよう、デジタル技術を活用し早期のつまずき予防に取り組む考えは。

答　デジタル活用の有効事例を各校で共有するなど支援体制の底上げを図り、学習に困難さを抱える児童生徒の支援に全力で取り組みます。



You Tube
録画中継は
こちらから

笹渕峰尚
（黎明親和会）

米価格の安定化　国へ働きかけを

動向を注視し必要に応じて要望する

問　昨今の記録的な米価格の乱高下が農業経営や担い手確保に与える影響をどう捉えているか。

答　農家経営の見通しをさらに不透明にし、本市の基幹産業である農業の持続性と担い手の確保に大きな打撃を与えるものと懸念しています。

問　前年の高値による収入増加に伴い、税金面での負担増加が懸念されるが、課税状況はどのように推移しているか。

答　令和８年度の農業所得者の個人市民税は、納税者数が1,073人、課税額が約３億3,800万円で、前年度比で280人増、約２億1,200万円の増額となっています。

問　収入保険や農業経営基盤強化準備金等の活用に向けた支援策は。

答　収入保険は「農業収入保険加入促進事業」等の実施により加入者が増加しています。準備金は、設備投資に意欲のある農業者から相談があった際に、活用を促していきます。

問　スマート農業による所得向上を支援しては。

答　令和３年度から「スマート農業機械導入支援事業」を実施し、農業所得の向上に向けた後押しになっていると認識しており、今後も事業を継続したいと考えています。

問　価格安定化について国へ働きかける考えは。

答　国の動向を注視し、必要に応じて県や市長会を通じて要望していきます。

問　生成ＡＩの全庁的な活用により職員の働き方改革と行政サービスの向上を図る考えは。

答　国が実証を進める答弁作成支援ＡＩ「源内」などの先進的技術の全庁的な導入等により、業務効率化と行政サービスの向上につなげたいと考えており、「第２次ＤＸ推進ビジョン」の策定過程において、より効果的な取組を検討します。